

令和7年度 鳥取県立美術館 アートな鳥取創出事業

# 朝鑑賞シンポジウム

「朝鑑賞」に興味をお持ちの方、アートを通じた学びやコミュニケーションに興味をお持ちの方、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の先生方、大学等学校教育関係者および学生、市町村教育委員会関係者、対話鑑賞ファシリテーター登録者等にお薦めのシンポジウムです。お気軽にご参加ください。

日時  
会場

令和8年  
1月11日[日]  
10時▶16時30分

鳥取県立美術館ホール

△当日参加もできます！／

参加申込受付中

【午前の部】10時 - 12時  
【午後の部】13時20分 - 16時30分

〒682-0816  
鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12

【定員】申込優先制先着50名程度／WEBフォームによる申込み切：令和8年1月10日[土]17時まで

【午後の部】パネルディスカッション他



コーディネーター ファシリテーター

三澤 一実 (みさわ・かずみ)

武蔵野美術大学 教授

1963年長野県生まれ。公立中学校美術科教諭、埼玉県立近代美術館主査、文教大学准教授を経て、2008年より武蔵野美術大学教授。「旅するムサビ」を主宰し、2017年「旅するムサビ」はグッドデザイン賞受賞。2016年から朝鑑賞に取り組む。一昨年、昨年に続き、本会コーディネーターを務める。



パネリスト

海老塚 耕一 (えびづか・こういち)

多摩美術大学 名誉教授  
日本美術家連盟 理事

1951年横浜市生まれ。美術家、現代美術研究者。多摩美術大学名誉教授。個展を中心に発表しサンパウロ・ビエンナーレなど国際展にも多数出品する。美術家としての制作を、鑑賞理論としても論理化しつつ、子どもとの交感(あそびじゅつ)を通して独自に展開している。



パネリスト

沼田 芳行 (ぬまた・よしゆき)

埼玉県所沢市立小手指中学校 教諭

彩の国共育研究サークル学びの杜共同代表、元埼玉県公立中学校校長。2016年より学校研究にアートを取り入れたプロジェクトを主宰してきた。中核となる教育活動に「朝鑑賞」を据え、子どもたちのこれからに生きる学びのチカラを育んできた。著書に「校長の挑戦」(教育開発研究所・共著)



ファシリテーター

間部 俊一 (まなべ・しゅんいち)

株式会社 直島文化村



パネリスト

山崎 麻由 (やまざき・まゆ)

長野県東御市地域おこし協力隊



パネリスト

藤原 綾乃 (ふじわら・あやの)

公益財団法人 福武財団 トップエデュケーター



パネリスト

小原 弘行 (おばら・ひろゆき)

倉吉市立鴨川中学校 校長

いま話題の「朝鑑賞」に関するシンポジウムを、今年度は時間を拡大し開催！

週に1回、たった10分の

「朝鑑賞」で、安心・安全な学校づくりⅢ－実践編－  
不登校の改善にも効果（昨年度報告）

記録動画公開あり  
聴講無料



申込

WEBフォームよりお申込みください

主催 鳥取県

共催 鳥取県教育委員会

# 昨年に継いで鳥取県立美術館から、作品鑑賞を通じて新しい自分に出会う「朝鑑賞」の理論と先進的な事例を、より一層パワーアップしてご紹介します！

週に1回、朝10分の「朝鑑賞」が生まれて10年。取り組んだ学校では、学力と自己肯定感が目に見えて向上したことが報告され、その取り組みは、全国へと広がりを見せています。さらにその効果は、教師の指導力向上や保護者との関係性にも表れたといいます。体験する多くの人々の変容が期待できるこの取り組みについて、実践者とパネリストをお招きしてシンポジウムを開催いたします。ご来場の皆様からの声もお聞きしながら「朝鑑賞」についての理解を深めるとともに、ご所属での実践へつなげる機会とします。



令和7年3月30日に開館した県立美術館では、児童・生徒をはじめすべての人たちの「アートを通じた学び」を支援する研究室「アート・ラーニング・ラボ（A.L.L.）」を設置し、アートにまつわる多様なプログラムを提案しています。学校の先生がファシリテーターとなり対話鑑賞を行う「朝鑑賞」もその一つです。今回のシンポジウムでは、全国各地の中学校・美術館・行政機関からの実践報告と、武蔵野美術大学の三澤一実氏のコーディネートによるパネルディスカッションによって、「朝鑑賞」が学校に何をもたらし、生徒や教師にどのような変化を生むのかについて、理論と実践の両面から迫ります。

【午前の部】

実践発表

● 10:00 - 12:00 / 開会、実践発表 [各回15分程度：発表10分+質疑応答5分]

①	鹿児島県 宇検村立田検小学校 校長 鍾 謙治（たたら・けんじ）	オンライン
②	東京都 杉並区立東原中学校 校長 鳥居 夕子（とりい・ゆうこ）	
③	茨城県 取手市立取手西小学校 教諭 江崎 知菜（えさき・ちな）	オンライン
④	鳥取県 倉吉市立鴨川中学校 教諭 山本 祐久（やまもと・たすく）	

休憩

⑤	大阪府 大阪市総合教育センター 指導主事 東影 美香（ひがしがけ・みか）
⑥	長野県 東御市企画振興部文化・スポーツ振興課 課長 高橋 則幸（たかはし・のりゆき）
⑦	東京都 武蔵野美術大学 教授 三代 純平（みよ・じゅんぺい）

実践発表全体を通して、午前の部の最後にも質疑応答の時間を設けます。

全国各地から  
**7件**  
の実践発表！

校内研究会に全国から200人!  
所沢市立三ヶ島中学校の「朝鑑賞」

多くの学校では、朝の「朝ドリル」や「朝読書」の他、学校独自の取り組みなど、朝に短時間の学習活動が行われています。「朝鑑賞」はそこで美術作品の鑑賞を行う取り組みです。埼玉県所沢市立三ヶ島中学校では、2015年に実施された「旅するムサビプロジェクト（※1）」をきっかけに、2016年度から、週に1回、金曜日の朝10分間、全教科の先生が、全クラスで一斉に美術鑑賞を始める「朝鑑賞」をスタートしました。武蔵野美術大学の三澤一実教授のサポートのもと、沼田芳行校長を中心に学校マネジメントの視点で進められたこの取り組みは、翌2017年に、読売教育賞2017「カリキュラム・学校づくり」部門の優秀賞（※2）を受賞しています。

※1:「旅するムサビプロジェクト」は、学生の作品を学生自身が全国各地の中学校でギャラリートークする「旅するムサビプロジェクト」、黒板に絵を描く「黒板ジャック」、空き教室を利用した「公開制作」や「ワークショップ」などを三澤一実教授の指導のもとに実施するもの。

※2:1952年に始まった読売教育賞は、小・中・高・幼稚園・保育所、教育委員会・PTAなどを対象に、意欲的な研究や創意あふれる指導を行い、すぐれた業績をあげている教育者や教育団体を顕彰しています。「国語教育部門」「算数・数学教育部門」「外国語・異文化理解部門」「地域社会教育活動部門」などがある。

【午後の部】

4名  
のファシリテーションを体験!

対話鑑賞ファシリテーター

三澤一実／沼田 芳行／間部 俊一／山崎 麻由

ファシリテーターそれぞれの個性が光る  
対話鑑賞を、20分×3回行います。

今回だけの  
特別企画。  
こちらも  
見逃せない!

14:30 - 16:30 / 登壇者自己紹介、パネルディスカッション

武蔵野美術大学教職課程研究室の三澤一実教授が聞き手となり、4名のパネリストとクロストークを行います。登壇者の自己紹介の後に様々な取り組みをご紹介いただきながら、朝鑑賞実践の可能性と課題を考える機会とします。

【テーマ】  
「朝鑑賞を疑ってみる」

16:00 - 16:30 / 質疑応答・閉会

お申込みは、こちらから

参加人数を把握するために、WEBフォームで事前受付を行います。お申込みいただいた方を優先にご入場いただきますが、空席がある場合は、当日参加も可能です。

WEB申込〆切  
2026年  
1月10日

